19 日（日）朝、4 時 30 分ごろにボーン、ボーンと響く鐘の音で目を覚まします。あとで聞くと、大山支援村代表・小川さんが毎日鐘をついておられるとのこと。曇天ですが、今日は雨が落ちてこなさそう。子どもたちは早くにきっちりと目をあけると、遊びはじめす。

地元のお母さんたちが朝食を作りにきてくださっています。朝早くからありがとうございます。お味噌汁、ごはん、お漬物、焼きアジ、納豆、卵料理など身体にやさしい朝ごはんです。

ごはんを食べるとあっという間に出発の時間。荷物をまとめて会議室に集合です。首藤さんの司会で、小川代表のご挨拶がありました。本当に、素敵な人々、素敵な場所との出会いでした。

さらに今回はとっても素敵な贈り物がありました。8 時 30 分に、バスで鴨川シーワールドに出発です。鴨川市さんがご招待してくださったのです。子どもだけでなく、大人も含めて全員です。イルカショー、シャチショーなどを満喫しました。シーワールド初体験の子どもたちも多く、みんなで楽しみました。

あっという間に時は過ぎ、13 時に支援村・スタッフの方々と最後のお別れをして福島に向けて出発です。この日は雨も降らず、子どもたちは終始、外で駆け回りました。夜 7 時過ぎ福島大学に戻ってきました。

鴨川市大山支援村のみなさま、本当にありがとうございました。

参加者の方々からの声

放射能がないと思うだけで、こんなにも心が解放されるのだと、しみじみ思いました。子供も汗をかき、大人もいっぱい食べて、お酒を飲み、本当に楽しかったです。朝、鴨川の雨にぬれる木々を見ながら、癒しを実感していました。今までは自然から受け取る癒しの力で私は再生していたんだな・・と思いだしました。鴨川の皆さまの温かい歓迎は本当に嬉しく、福島の子供を受け入れたくない、または福島県民は嫌だと敬遠される中、本当に感謝です。支援者の方々が、以前からいる方々と移住者が一つとなり、町の再生にかける意気込み。町を愛する気持ち。将来の展望。今福島にはない姿がここにあると感じ、涙がでそうになりました。

子どもたちの声

＊体育館でみんなで遊んだのが楽しかった。いつもは大勢で狭苦しい体育館で遊んでいるので、思いっきり体を動かせてうれしかった。
＊学校探検が楽しかった。肝だめしができなかったのは残念だったけど学校中を走り回って遊べたのがすごく面白かった。バーベキューがおいしかった！
＊お友達になれたのがうれしかった。

放射線量のことなどすっかり忘れて、まるで原発事故などなかったかのように錯覚してしまうような貴重な 2 日間でした。

鴨川にいってわかったのはやっぱり福島の空気が違うということでした。
なんでだかわからないけれど、最近、目がヒリヒリしてて、鼻づまりと痰がひどかったのですが、鴨川に行ってるときはびっくりするくらい何もなくて…。福島に帰ってきたらまた復活してました。